

令和5年度 医療依存度の高い患者の在宅療養に関わる看護職支援事業 対面型研修 プログラム

研修名	研修目標		研修方法	研修日時 必要時間	研修場所 (定員数)	担当者
1. 糖尿病患者のフットケア	*対象者：オンデマンド配信「Ⅲ-1. 糖尿病管理とケア」を事前に受講（動画視聴）可能な方		講義 演習	10月27日（金） 10：30～12：00 約90分	東病棟12階 セミナー室2 (定員10名)	藤本 美枝 原野 寿子
	糖尿病患者のフットケアの基本的な知識・ケアを学ぶ	①フットケアの必要性を理解する ②フットケアの基礎知識がわかる ③具体的なケアや患者指導のポイントがわかる				
2. 人工呼吸器の仕組みとフィジカルアセスメント	*対象者：聴診器を持参可能な方		講義 演習	10月31日（火） 10：00～12：00 約120分 休憩含む	中央診療棟7階 総合臨床研修センター カンファレンス室 演習室 (定員10名)	田中 貴子
	人工呼吸器管理の基本的な仕組みとフィジカルアセスメントを学ぶ	①陽圧管理と自然呼吸の違いを理解し、必要な知識を習得する ②人工呼吸器管理中の患者の意識・呼吸・循環について理解できる ③人工呼吸器管理中の患者の意識・呼吸・循環の情報を収集しアセスメントすることができる				
3. 家族ケアに活かすアセスメント (事例検討)	*対象者：家族ケアに関してお困りの事例がある方、アセスメント方法について学びたい方 (研修時に事例の検討も可能です。詳細は申込みフォームに記載しております。)		講義 グループワーク	10月31日（火） 14：00～15：30 約90分	東病棟12階 多目的ホール (定員15名)	江田 由美子 吉里 孝子 市川 麻紀
	家族ケアにおける困難事例を共有し、介入方法を検討することができる	①家族アセスメントに必要な情報を理解することができる ②困難事例の問題点を整理し共有することができる ③困難事例への家族ケアを検討できる				
4. がん性疼痛における医療用麻薬の管理 (皮下注射の穿刺、PCAポンプの操作を含む)	*対象者：オンデマンド配信「Ⅱ-2-d. がん性疼痛のケア」「Ⅱ-2-e. がん性疼痛における医療用麻薬の管理」を受講（動画視聴）可能な方		講義 演習	11月14日（火） 14：00～15：30 約90分	中央診療棟7階 総合臨床研修センター カンファレンス室 演習室 (定員15名)	前田 望花 坂口 まみ
	終末期がん患者の身体症状をアセスメントし、症状緩和のための治療やケアを理解し実践に活かす	①医療用麻薬の適切な使用・管理方法について理解し、実践につなげることができる ②皮下注射の安全な穿刺について理解し、実践につなげることができる ③PCAポンプの操作について理解し、実践につなげることができる				
5-1. 感染対策の基礎	*対象者：「5-1. 感染対策の基礎」「5-2. 感染対策の応用」を通して受講可能な方		講義	11月17日（金）	東病棟12階 セミナー室2 (定員20名)	藤本 陽子 手塚 美奈 吉田 真由美
a. 標準予防策	標準予防策が理解できる	①標準予防策の項目を知ることができる ②標準予防策を実践できる		9：15～9：35 約20分		
b. 手指衛生	手指衛生の必要性、タイミング、正しい方法が理解できる	①感染対策の基本である手指衛生を学ぶことができる ②正しい技術を習得できる		9：35～9：55 約20分		
c. 感染経路別予防策	感染経路別予防策が理解できる	①3つの感染経路別予防策（接触・飛沫・空気）の違いがわかる ②上記に必要な个人防护具を選択できる		9：55～10：25 約30分		
5-2. 感染対策の応用			演習	11月17日（金）		藤本 陽子 手塚 美奈 吉田 真由美
a. 手指衛生と个人防护具の演習	適切な手指衛生、状況に応じた个人防护具の選択及び患者にも自身にも安全な着脱方法が理解できる	①正しい手指衛生を実践できる ②必要な个人防护具の選択ができ、正しい着脱方法が実践できる		10：35～11：05 約30分		
b. 事例検討	自施設のできるベストな感染対策がわかる	事例・グループワークを通じて必要な感染対策を考えることができる		11：10～12：00 約50分		